

令和5年8月7日

令和5年上半期における 特殊詐欺の状況について

警視庁犯罪抑止対策本部

目 次

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 10
(5) 還付金詐欺	・・・ 12
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 16
(7) 金融商品詐欺	・・・ 17
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 18
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 19
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 19
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 20
(12) 全体に占める金品手交等の種別割合	・・・ 23
(13) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 23
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 24

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 25
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 28

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 29
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 30
(3) 被害金調達状況（全体）	・・・ 31
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 32
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 32
(6) 未然防止の好事例	・・・ 33

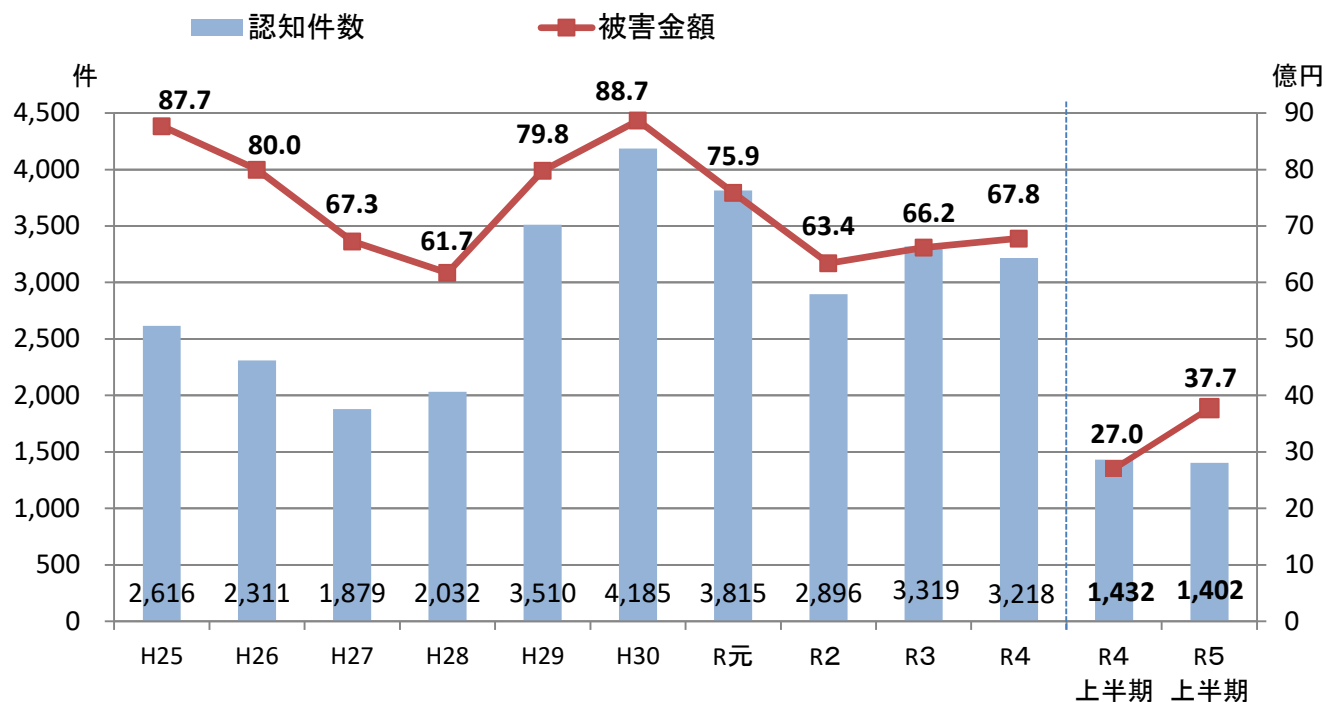
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む）の総称
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する

1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体

ア 認知状況の年別推移 (H25～R5)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 令和5年上半期における認知状況

	オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あつせん		その他		キャッシュカード詐欺盗		合計		
	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	既遂	未遂	
認知件数	R5上半期	383	(350)	325	(315)	235	(234)	246	(244)	4	(4)	12	(12)	2	(2)	0	(0)	0	(0)	195	(192)	1,402	(1,353)
	R4上半期	413	(348)	256	(243)	39	(38)	394	(394)	1	(1)	0	(0)	6	(6)	0	(0)	0	(0)	323	(319)	1,432	(1,349)
	前年比	-30	(+2)	+69	(+72)	+196	(+196)	-148	(-150)	+3	(+3)	+12	(+12)	-4	(-4)	±0	(±0)	±0	(±0)	-128	(-127)	-30	(+4)
	増減率	-7.3%	(+0.6%)	+27.0%	(+29.6%)	+502.6%	(+515.8%)	-37.6%	(-38.1%)	+300.0%	(+300.0%)	-	-	-66.7%	(-66.7%)	-	-	-	-	-39.6%	(-39.8%)	-2.1%	(+0.3%)
被害金額	R5上半期	1,308,489,000		318,010,000		1,408,286,445		330,632,619		5,682,539		156,166,773		12,322,693		0		0		231,133,000		3,770,723,069	
	R4上半期	1,192,813,600		263,248,520		99,884,300		580,496,517		92,000		0		107,368,532		0		0		460,809,406		2,704,712,875	
	前年比	+115,675,400		+54,761,480		+1,308,402,145		-249,863,898		+5,590,539		+156,166,773		-95,045,839		±0		±0		-229,676,406		+1,066,010,194	
	増減率	+9.7%		+20.8%		+1309.9%		-43.0%		+6076.7%		-		-88.5%		-		-		-49.8%		+39.4%	
R5平均金額(既遂)		3,738,540		1,009,556		6,018,318		1,355,052		1,420,635		13,013,898		6,161,347		0		0		1,203,818		2,786,935	

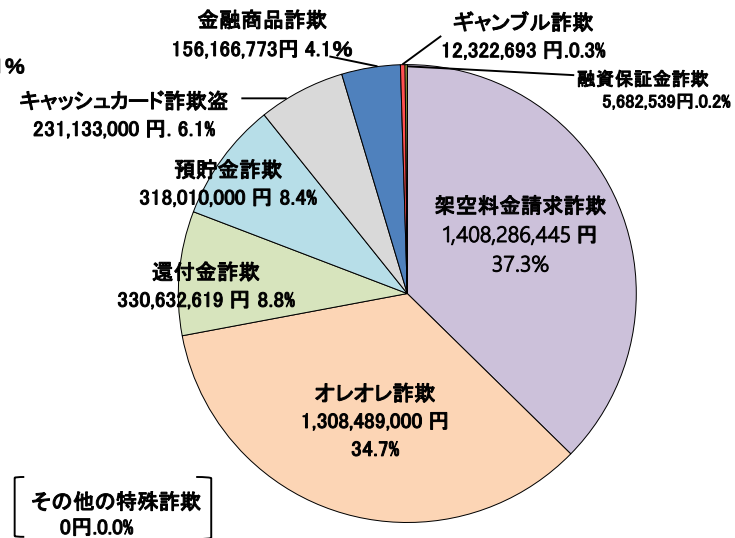
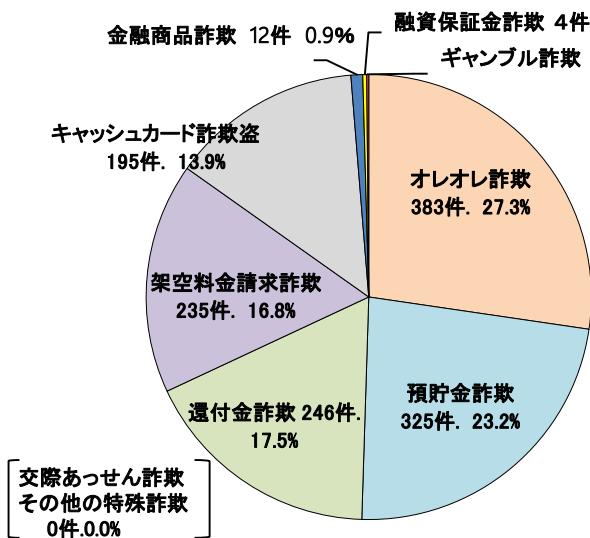
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む (以下同じ)

- 認知件数1,402件、被害金額約37.7億円で、前年同期と比べ認知件数が-30件(-2.1%)減少し、被害金額が約10.7億円(+39.4%)増加した。
- 手口別では前年同期と比べ、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺及び金融商品詐欺は増加し、オレオレ詐欺、還付金詐欺、ギャンブル詐欺及びキャッシュカード詐欺盗は減少した。
- 架空料金請求詐欺は、本年からサポート詐欺の認知件数を計上している。

ウ 類型別の認知件数及び被害金額

【認知件数 1,402件】

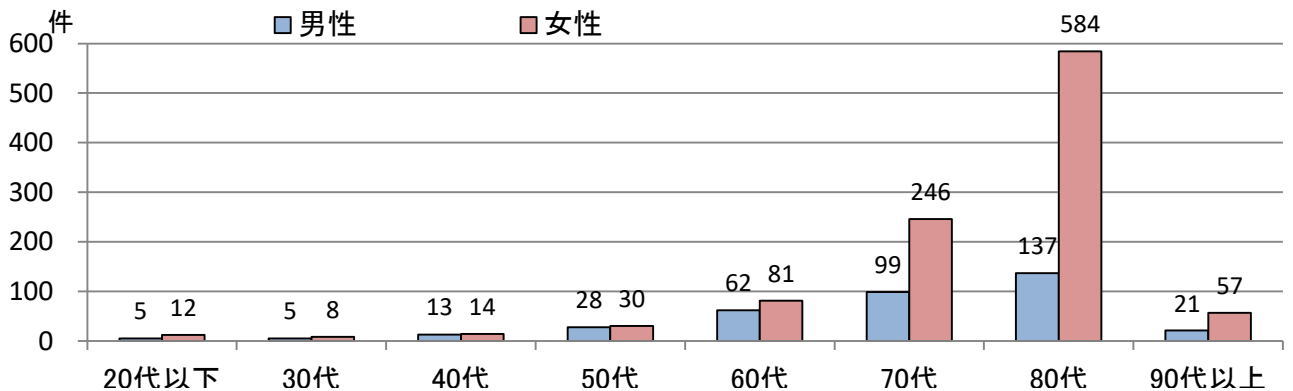
【被害金額 37億7,072万3,069円】



○ 認知件数は、オレオレ詐欺が27.3%(383件)を占め、次いで預貯金詐欺が23.2%(325件)、還付金詐欺が17.5%(246件)、架空料金請求詐欺が16.8%(235件)、キャッシュカード詐欺盗が13.9%(195件)などとなっている。

○ 被害金額は、架空料金請求詐欺が37.3%(約14.1億円)を占め、次いでオレオレ詐欺が34.7%(約13.1億円)、還付金詐欺が8.8%(約3.3億円)などとなっている。

エ 被害者 (年代別・男女別)



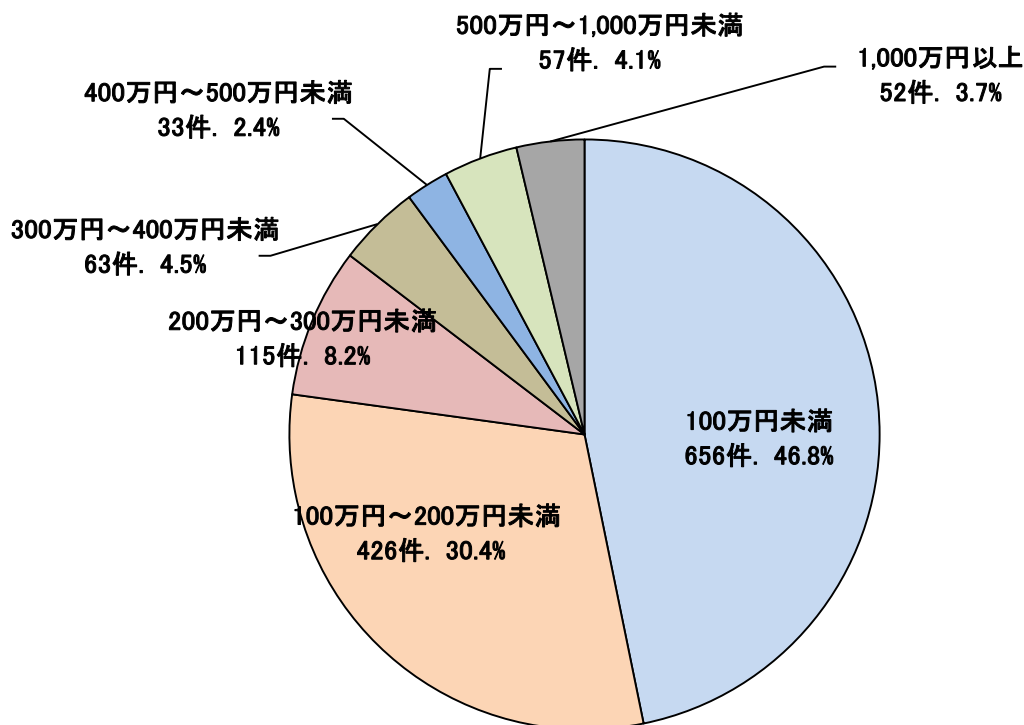
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年 上半期	男性	5	5	13	28	62	99	137	
	割合	1.4%	1.4%	3.5%	7.6%	16.8%	26.8%	37.0%	5.7%	100.0%	
	女性	12	8	14	30	81	246	584	57	1,032	73.6%
	割合	1.2%	0.8%	1.4%	2.9%	7.8%	23.8%	56.6%	5.5%	100.0%	
	合計	17	13	27	58	143	345	721	78	1,402	
	割合	1.2%	0.9%	1.9%	4.1%	10.2%	24.6%	51.4%	5.6%	100.0%	
	前年比	+15	+3	+21	+36	+24	-130	-17	+18	-30	
R4年 上半期	男性	2	4	2	4	35	123	127	22	319	22.3%
	割合	0.6%	1.3%	0.6%	1.3%	11.0%	38.6%	39.8%	6.9%	100.0%	
	女性	0	6	4	18	84	352	611	38	1,113	77.7%
	割合	0.0%	0.5%	0.4%	1.6%	7.5%	31.6%	54.9%	3.4%	100.0%	
	合計	2	10	6	22	119	475	738	60	1,432	
	割合	0.1%	0.7%	0.4%	1.5%	8.3%	33.2%	51.5%	4.2%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の81.6%(1,144人)を占めており、80代が51.4%(721人)と最も多い。また、男女別では、女性が73.6%(1,032人)を占めている。

○ 65歳以上の高齢者の割合は、全体の87.9%(1,233人)を占めている。

才 被害金額別（未遂を除く）

【認知件数 1,402件】



カ 被害金等受取方法別

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R5年上半期	334	338	558	9	160	0	0	3	1,402
割合	23.8%	24.1%	39.8%	0.6%	11.4%	0.0%	0.0%	0.2%	100.0%
R4年上半期	424	350	638	4	15	0	0	1	1,432
割合	29.6%	24.4%	44.6%	0.3%	1.0%	0.0%	0.0%	0.1%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- ・ 電子マネー 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
- ・ コンビニ決済 コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
- ・ ATM決済 Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、金銭等をだまし取る手口

○ 受取方法の割合では、カード手交が最も高く全体の39.8%を占め、次いで、現金手交が24.1%を占めている。

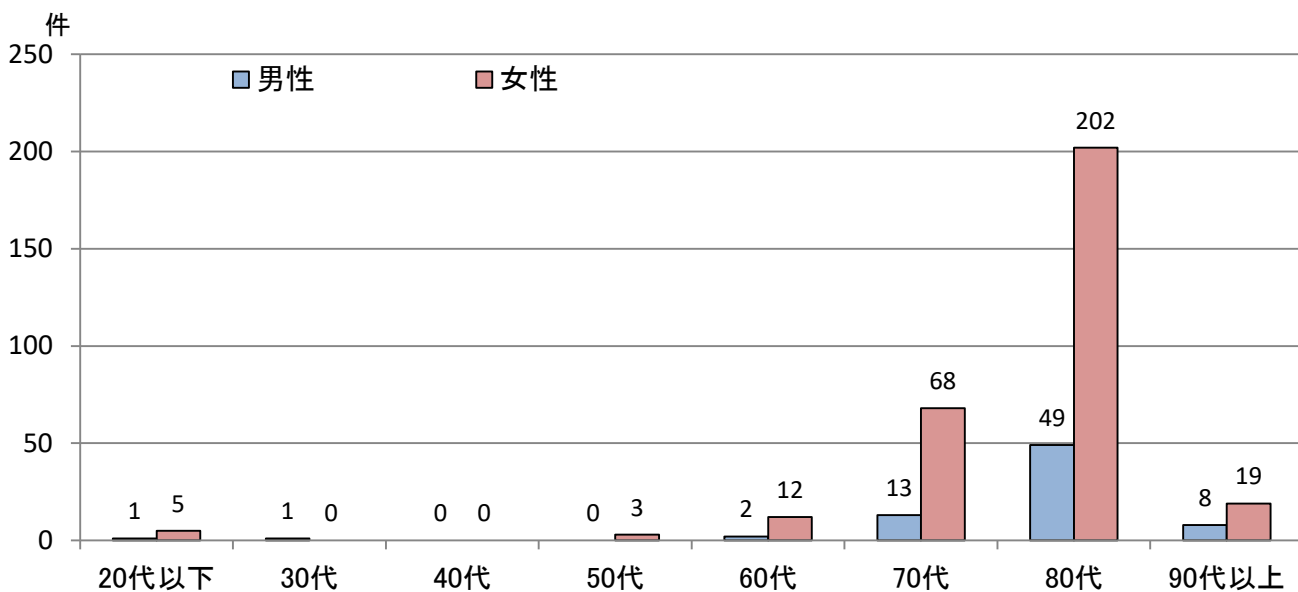
○ 現金手交及びカード手交の合計が、全体の63.9%（896件）を占める。

(2) オレオレ詐欺

ア 騙しの名目別

	R5年上半期				R4年上半期			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	0	0	0	0	1	0	1	0
横領事件等示談金	11	11	0	23,350,000	9	8	1	63,050,000
痴漢事件等示談金	1	1	0	2,500,000	14	9	5	36,700,000
妊娠中絶費用等	5	5	0	5,000,000	13	11	2	81,655,000
借金等の返済	2	2	0	4,680,000	0	0	0	0
損失補填金等	266	238	28	753,260,000	308	257	51	768,232,600
その他	98	93	5	519,699,000	68	63	5	243,176,000
合計	383	350	33	1,308,489,000	413	348	65	1,192,813,600
前年比	-30	+2	-32	+115,675,400				

イ 被害者（年代別・男女別）



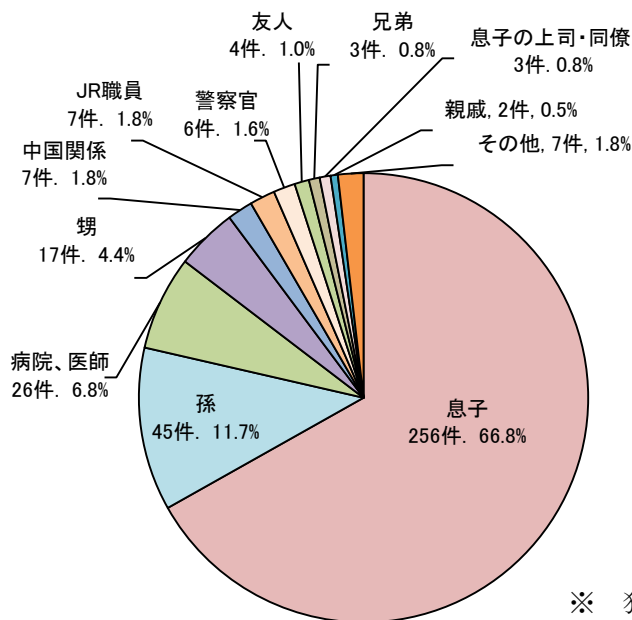
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R5年上半期	男性	1	1	0	0	2	13	49		8
割合	1.4%		1.4%	0.0%	0.0%	2.7%	17.6%	66.2%	10.8%	100.0%		
女性	5		0	0	3	12	68	202	19	309	80.7%	
割合	1.6%		0.0%	0.0%	1.0%	3.9%	22.0%	65.4%	6.1%	100.0%		
合計	6		1	0	3	14	81	251	27	383		
割合	1.6%		0.3%	0.0%	0.8%	3.7%	21.1%	65.5%	7.0%	100.0%		
	前年比	+6	-1	-3	±0	+4	-31	-3	-2	-30		
	増減率	—	-50.0%	-100.0%	±0.0%	+40.0%	-27.7%	-1.2%	-6.9%	-7.3%		
R4年上半期	男性	0	0	1	0	1	20	51	12	85	20.6%	
	割合	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	23.5%	60.0%	14.1%	100.0%		
	女性	0	2	2	3	9	92	203	17	328		79.4%
	割合	0.0%	0.6%	0.6%	0.9%	2.7%	28.0%	61.9%	5.2%	100.0%		
合計	0	2	3	3	10	112	254	29	413			
	割合	0.0%	0.5%	0.7%	0.7%	2.4%	27.1%	61.5%	7.0%	100.0%		

○ 被害者の割合は、年代別では、70代以上が全体の93.7%(359人)を占めており、男女別では、女性が80.7%(309人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上81.6%、女性73.6%)と比べ、高い割合になっている。

ウ 欺罔者(登場人物)別

【オレオレ詐欺の認知件数 383件】

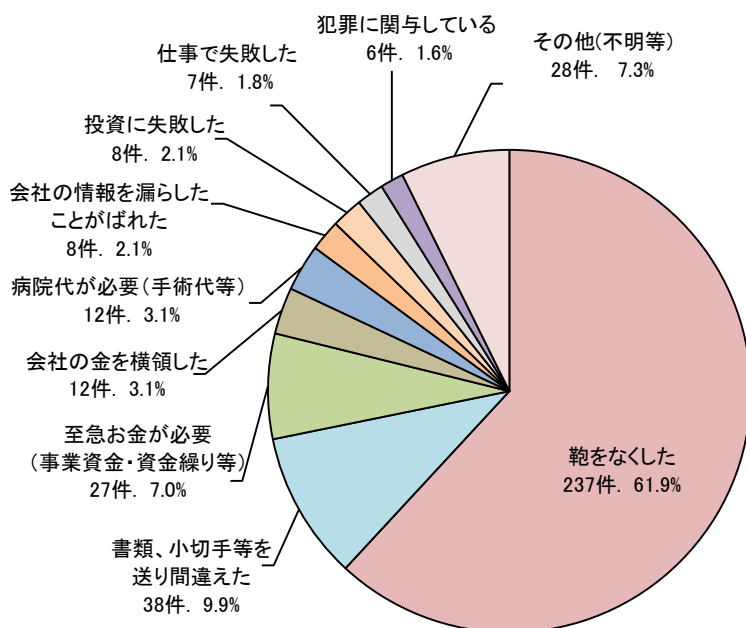


※ 犯人が最初に騙った人物を計上

- 息子や孫等の「親族」騙りが全体の84.3%(323件)を占め、そのうち「息子」騙りが66.8%(256件)と最も多く、次いで「孫」騙りが11.7%(45件)となっている。

エ 欺罔文言(だまし文句)別

【オレオレ詐欺の認知件数 383件】

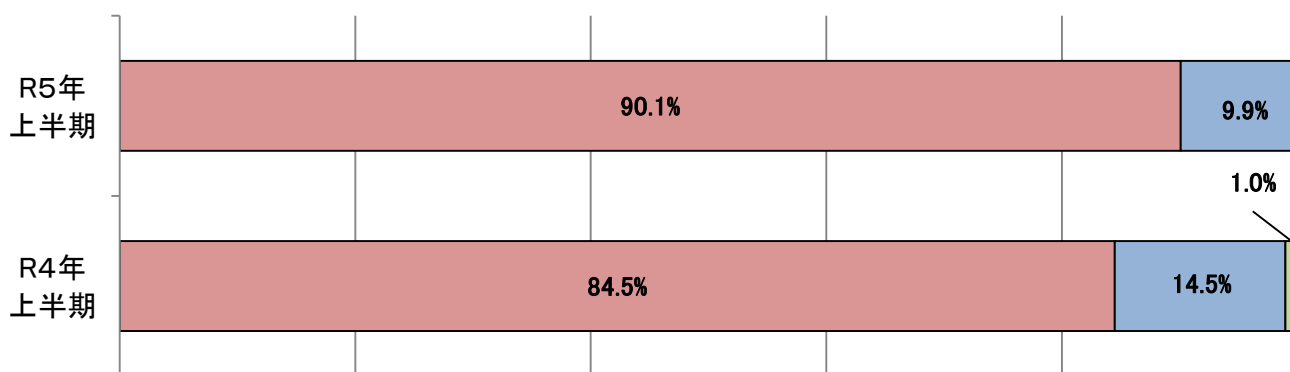


オ 被害金等受取方法別

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R5年上半期	337	8	0	38	0	0	383
割合	88.0%	2.1%	0.0%	9.9%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	-12	+4	±0	-22	±0	±0	-30
増減率	-3.4%	+100.0%	-	-36.7%	-	-	-7.3%
R4年上半期	349	4	0	60	0	0	413
割合	84.5%	1.0%	0.0%	14.5%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

■ 現金手交 ■ キャッシュカード手交 ■ その他(振込及び送付含む。)



【オレオレ詐欺の主な手口】

- **鞆を無くした(損失補填金等)**
親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- **会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)**
親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- **会社の金を使い込んだ**
親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口
- **『偽札』にすり替えられている**
警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

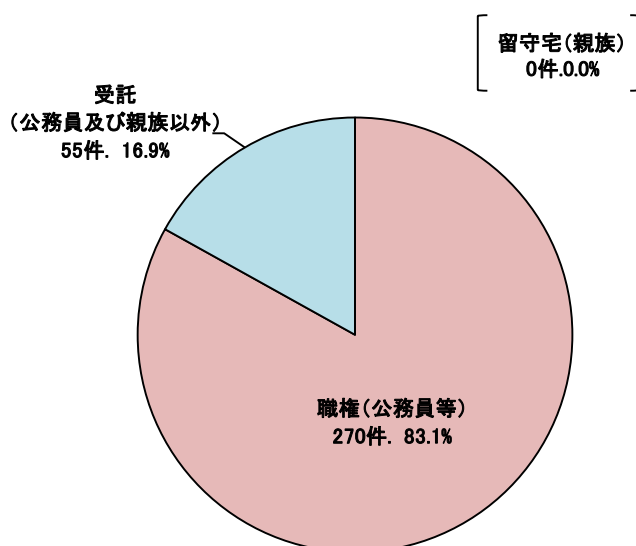
(3) 預貯金詐欺

ア 手口別認知件数

	認知件数	R5上半期			認知件数	R4上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	270	262	8	275,402,000	199	188	11	200,384,520
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	55	53	2	42,608,000	57	55	2	62,864,000
合計	325	315	10	318,010,000	256	243	13	263,248,520
前年比	+69	+72	-3	+54,761,480				

イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 325件】



【預貯金詐欺とは】

○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の職員を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

【主な手口】

○ 還付金がある

区・市役所の職員等を騙り、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

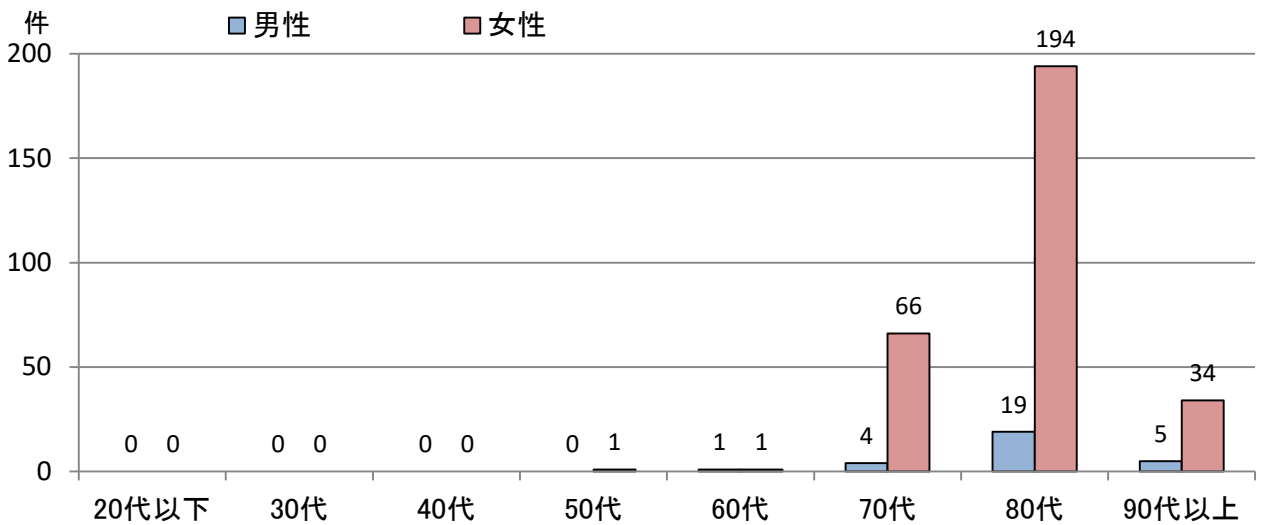
○ あなたのカードが犯罪に使われている

警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

ウ 被害者（年代別・男女別）



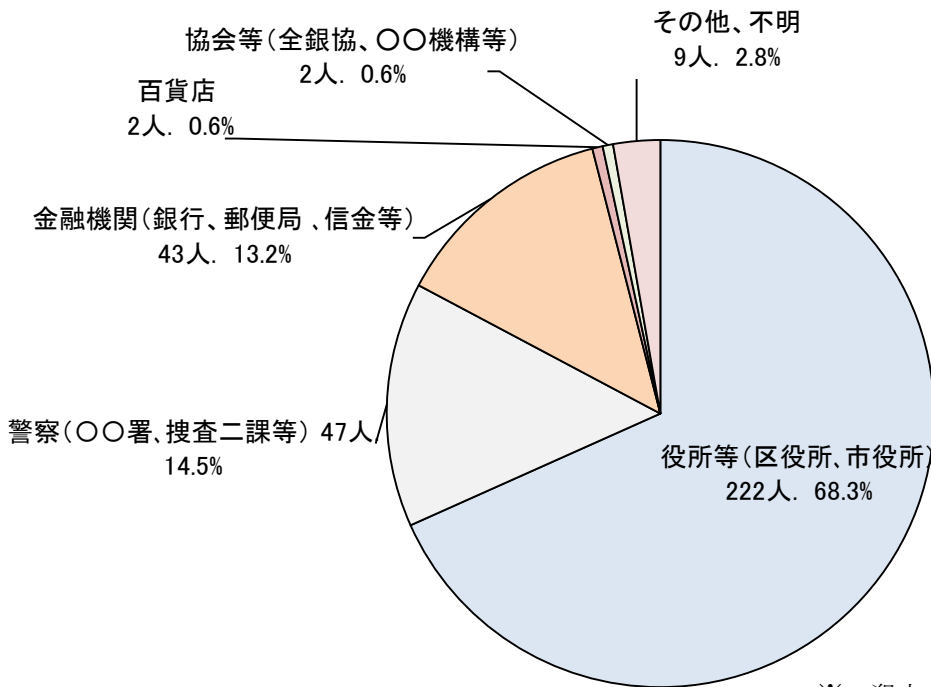
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男 性	0	0	0	0	1	4	19	5	
割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	13.8%	65.5%	17.2%	100.0%		
女 性	0	0	0	1	1	66	194	34	296	91.1%	
割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	22.3%	65.5%	11.5%	100.0%		
合 計	0	0	0	1	2	70	213	39	325		
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	21.5%	65.5%	12.0%	100.0%	
	前年比	±0	±0	±0	-1	-2	+8	+36	+28	+69	
	増減率	-	-	-	-50.0%	-50.0%	+12.9%	+20.3%	+254.5%	+27.0%	
R4年 上半期	男 性	0	0	0	0	1	5	24	4	34	13.3%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	14.7%	70.6%	11.8%	100.0%	
	女 性	0	0	0	2	3	57	153	7	222	86.7%
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.4%	25.7%	68.9%	3.2%	100.0%	
合 計	0	0	0	2	4	62	177	11	256		
	割 合	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%	24.2%	69.1%	4.3%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の99.1%(322人)を占めており、男女別では、女性が91.1%(296人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体の割合(70代以上81.6%、女性73.6%)と比べ高くなっている。

エ 欺罔者(登場人物)別

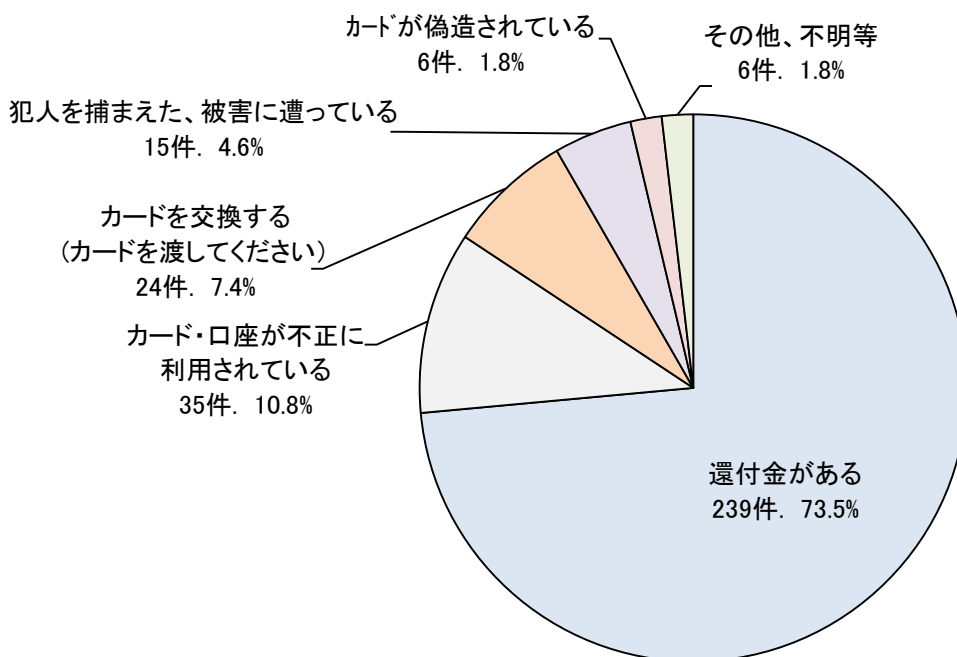
【認知件数 325件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 325件】

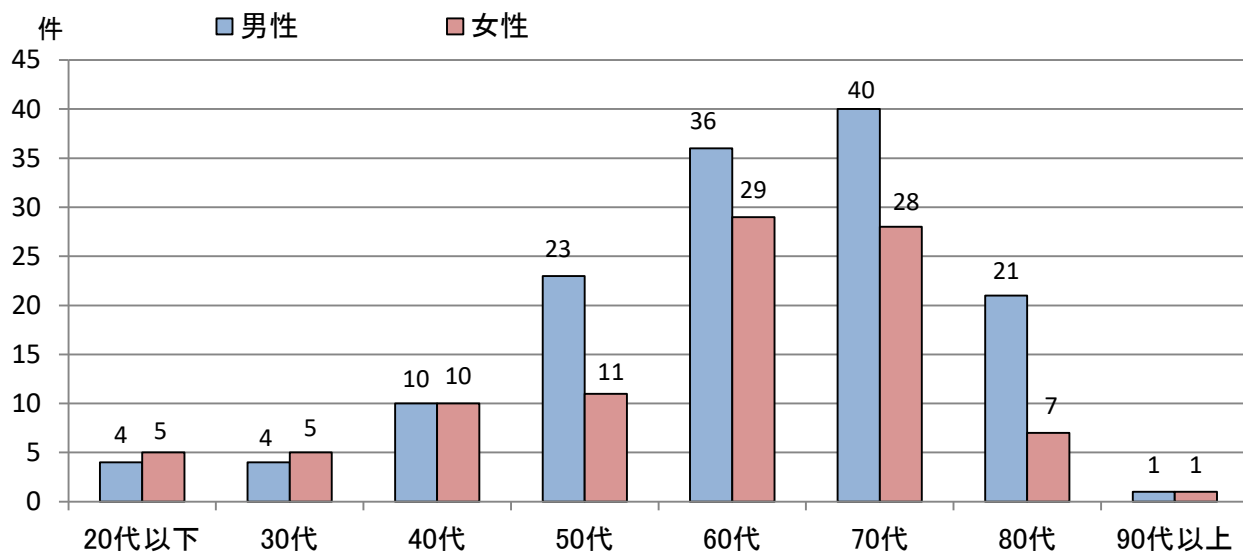


(4) 架空料金請求詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	64	64	0	599,639,190	34	33	1	98,891,320
名義貸しトラブル等	2	1	1	6,000,000	0	0	0	0
情報買取抹消料金等	0	0	0	0	0	0	0	0
訴訟関係費用等	1	1	0	19,766,903	0	0	0	0
その他	168	168	0	782,880,352	5	5	0	992,980
（サポート詐欺）	(140)	(140)	(0)	(110,026,270)	-	-	-	-
合計	235	234	1	1,408,286,445	39	38	1	99,884,300
前年比	+196	+196	±0	+1,308,402,145				

イ 被害者（年代別・男女別）



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R5年上半期	男性	4	4	10	23	36	40	21		1
割合	2.9%		2.9%	7.2%	16.5%	25.9%	28.8%	15.1%	0.7%	100.0%		
女性	5		5	10	11	29	28	7	1	96	40.9%	
割合	5.2%		5.2%	10.4%	11.5%	30.2%	29.2%	7.3%	1.0%	100.0%		
合計	9		9	20	34	65	68	28	2	235		
割合	3.8%		3.8%	8.5%	14.5%	27.7%	28.9%	11.9%	0.9%	100.0%		
前年比	+7	+4	+17	+26	+58	+58	+24	+2	+196			
増減率	+350.0%	+80.0%	+566.7%	+325.0%	+828.6%	+580.0%	+600.0%	-	+502.6%			
R4年上半期	男性	2	1	1	2	3	6	2	0	17	43.6%	
	割合	11.8%	5.9%	5.9%	11.8%	17.6%	35.3%	11.8%	0.0%	100.0%		
	女性	0	4	2	6	4	4	2	0	22		56.4%
	割合	0.0%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	100.0%		
合計	2	5	3	8	7	10	4	0	39			
割合	5.1%	12.8%	7.7%	20.5%	17.9%	25.6%	10.3%	0.0%	100.0%			

○ 各年代で男女を問わず発生している。

ウ 被害金等受取方法別

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R5年上半期	160	1	64	9	0	0	0	0	1	235
割合	68.1%	0.4%	27.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	100.0%
前年比	+145	+1	+45	+5	±0	±0	±0	±0	±0	+196
増減率	+966.7%	-	+236.8%	+125.0%	-	-	-	-	±0.0%	+502.6%
R4年上半期	15	0	19	4	0	0	0	0	1	39
割合	38.5%	0.0%	48.7%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- 受取方法の割合では、電子マネーが最も高く、全体の68.1%(160件)を占め、次いで振込が27.2%(64件)となっている。

【架空料金請求詐欺の主な手口】

○ サポート詐欺

パソコンやタブレット端末で動画やWEBサイトなどを閲覧しているときに、「ウイルスに感染しました。この電話番号におかけ下さい。」などの警告画面が表示され、指定された電話番号に連絡すると、相手側が遠隔操作プログラムのインストールを指示し、遠隔操作によるウイルス除去等のサポートを装い、その費用名目に現金振込や電子マネーカードの購入などを要求し、金銭等をだまし取る手口

○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」や「NTT」を騙り、携帯電話等に「料金の未払い金がある」という内容のメール（SMS等）を送信し、指定された電話番号に電話すると、「有料サイトの未納料金がある」などと言われ、未払い料金名目で金銭を要求される。

これに応じて金銭の支払いをすると、その後、個人データ保護協会、セキュリティ協会などを騙る者から「あなたの携帯電話がウイルスに感染して損害を与えた」などと言われ、架空のトラブルに巻き込み、損害賠償、慰謝料等の様々な名目で金銭を要求され、最終的には、「資産に犯罪収益がないか金融庁が確認する」、「資産を安全な場所に移動する」などと言われて、全資産を振り込むように要求される手口。

信じて支払いを続けると長期間に渡るため、高額被害になりやすい。

(5) 還付金詐欺

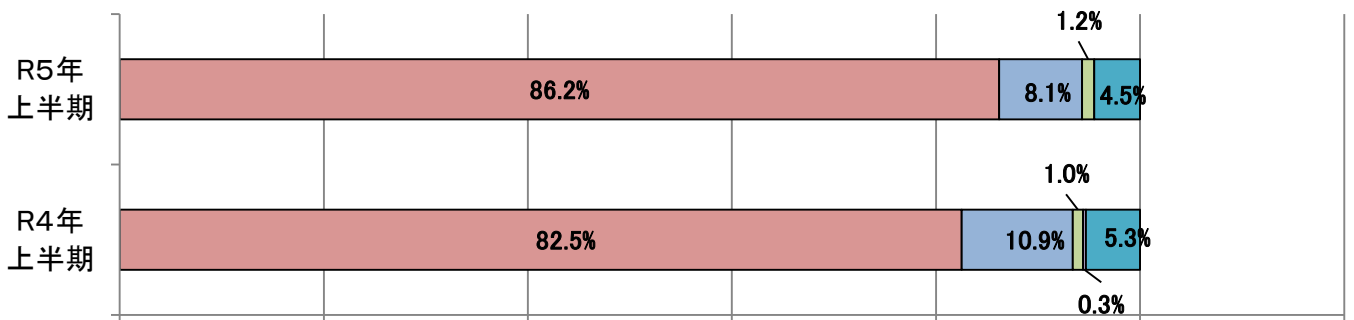
ア 騙しの名目別 (認知件数)

	R5年上半期				R4年上半期			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
医療費	212	211	1	290,830,059	325	325	0	501,214,725
健康保険・社会保険等	20	20	0	19,471,274	43	43	0	48,224,055
年金	3	2	1	1,978,555	4	4	0	2,558,478
税金	0	0	0	0	1	1	0	1,937,932
その他	11	11	0	18,352,731	21	21	0	26,561,327
合計	246	244	2	330,632,619	394	394	0	580,496,517
前年比	-148	-150	+2	-249,863,898				

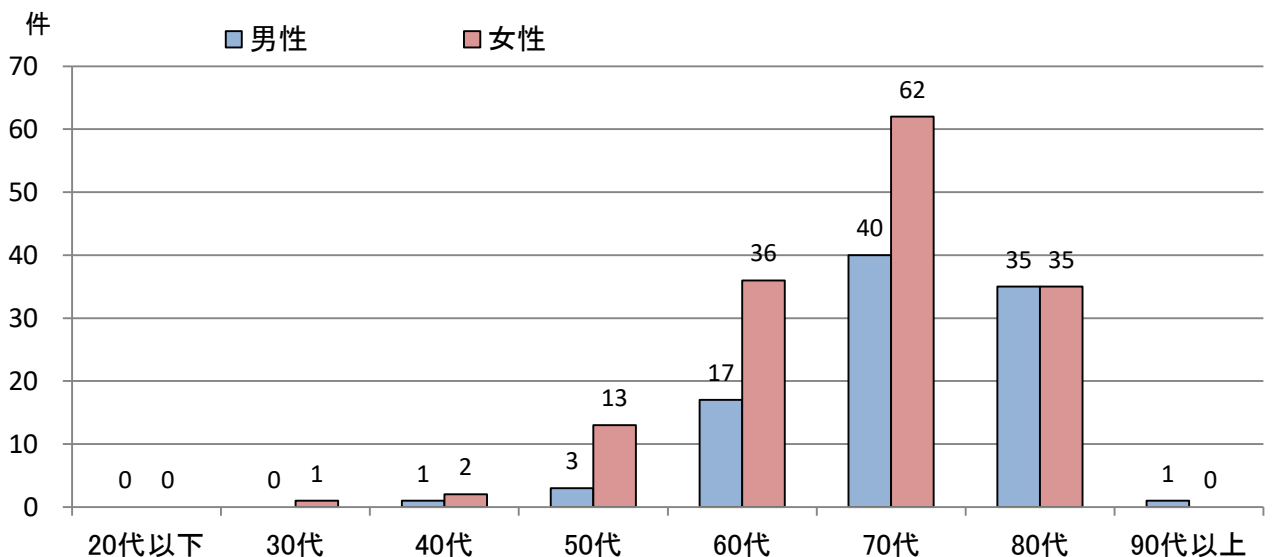
イ 騙しの名目別 (割合)

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R5年上半期	212	20	3	0	11	246
割合	86.2%	8.1%	1.2%	0.0%	4.5%	100.0%
R4年上半期	325	43	4	1	21	394
割合	82.5%	10.9%	1.0%	0.3%	5.3%	100.0%

■ 医療費 ■ 保険料 ■ 年金 ■ 税金 ■ その他



ウ 被害者 (年代別・男女別)



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R5年 上半期	男性	0	0	1	3	17	40	35	1	97	39.4%
	割合	0.0%	0.0%	1.0%	3.1%	17.5%	41.2%	36.1%	1.0%	100.0%	
	女性	0	1	2	13	36	62	35	0	149	60.6%
	割合	0.0%	0.7%	1.3%	8.7%	24.2%	41.6%	23.5%	0.0%	100.0%	
	合計	0	1	3	16	53	102	70	1	246	
	割合	0.0%	0.4%	1.2%	6.5%	21.5%	41.5%	28.5%	0.4%	100.0%	
	前年比	±0	-1	+3	+10	-37	-125	+2	±0	-148	
増減率	-	-50.0%	-	+166.7%	-41.1%	-55.1%	+2.9%	±0.0%	-37.6%		
R4年 上半期	男性	0	2	0	1	27	85	29	0	144	36.5%
	割合	0.0%	1.4%	0.0%	0.7%	18.8%	59.0%	20.1%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	5	63	142	39	1	250	63.5%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	25.2%	56.8%	15.6%	0.4%	100.0%	
合計	0	2	0	6	90	227	68	1	394		
割合	0.0%	0.5%	0.0%	1.5%	22.8%	57.6%	17.3%	0.3%	100.0%		

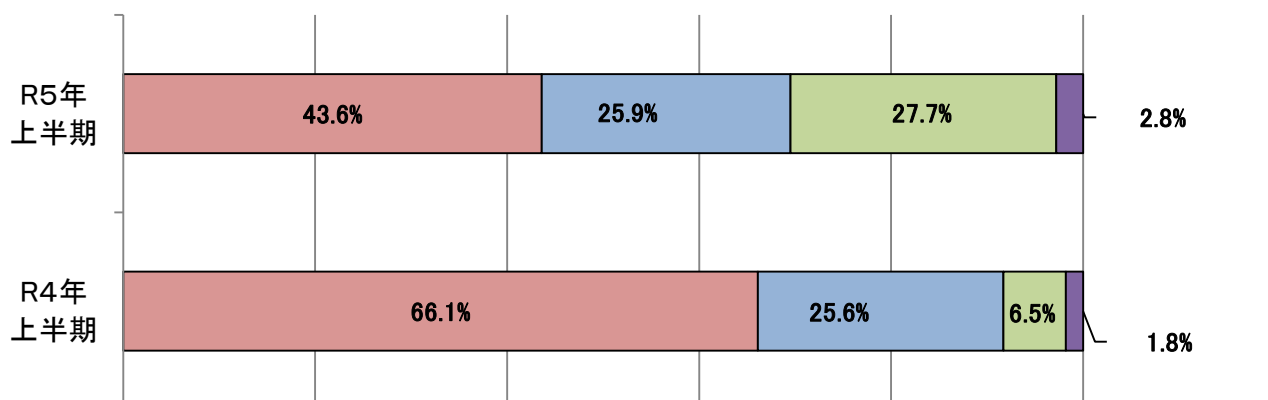
○ 被害者の割合は、70代以上が全体の70.3%(173人)を占めており、男女別では、女性が60.6%(149人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上81.6%、女性73.6%)と比べ、割合は低くなっている。

エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

		金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R5年上半期		219	130	139	14	502
	割合	43.6%	25.9%	27.7%	2.8%	100.0%
R4年上半期		587	227	58	16	888
	割合	66.1%	25.6%	6.5%	1.8%	100.0%

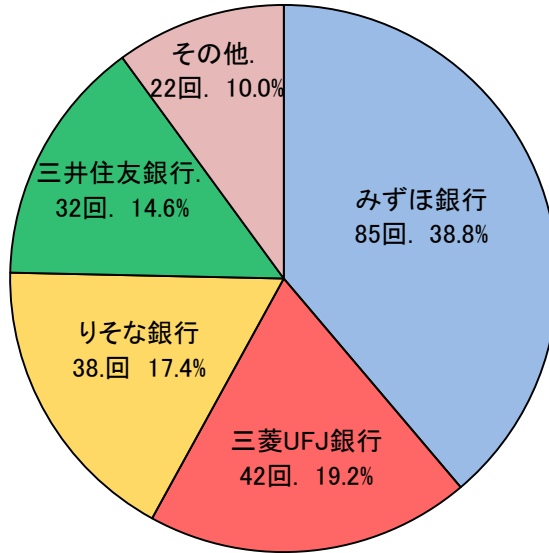
■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



○ コンビニATMでの振込回数が増加している。

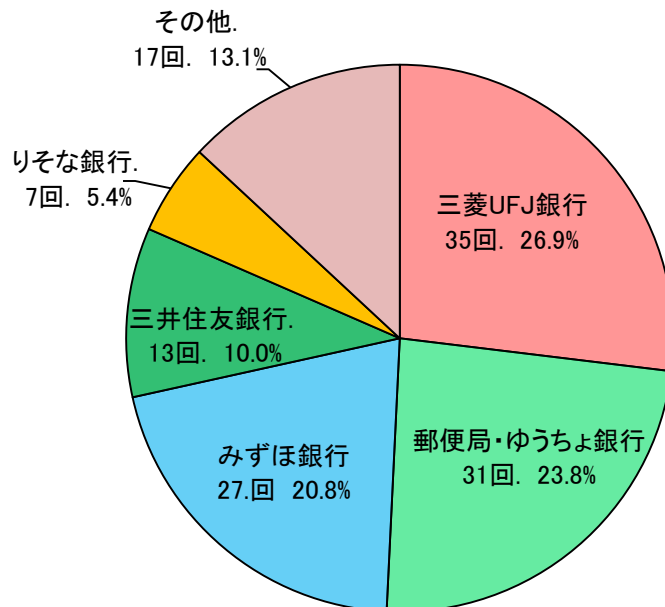
金融機関別【無人ATM】

【振込回数 219回】



金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 130回】



オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

振込の回数

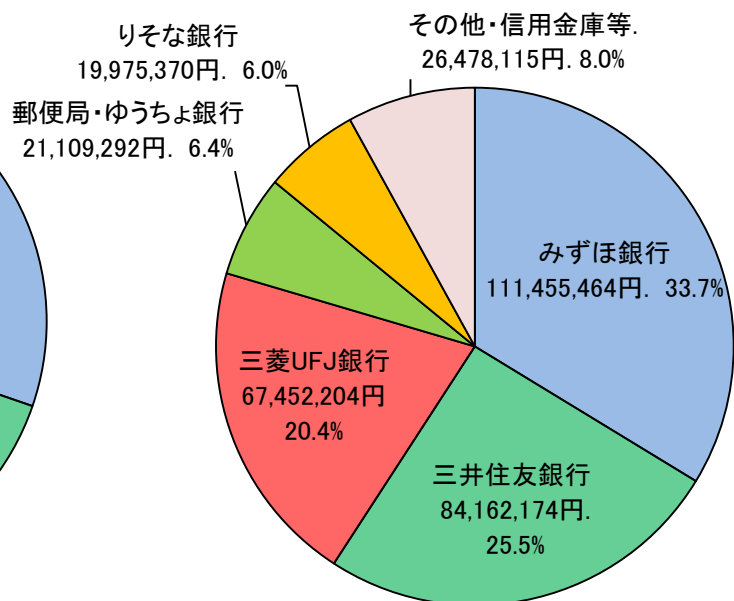
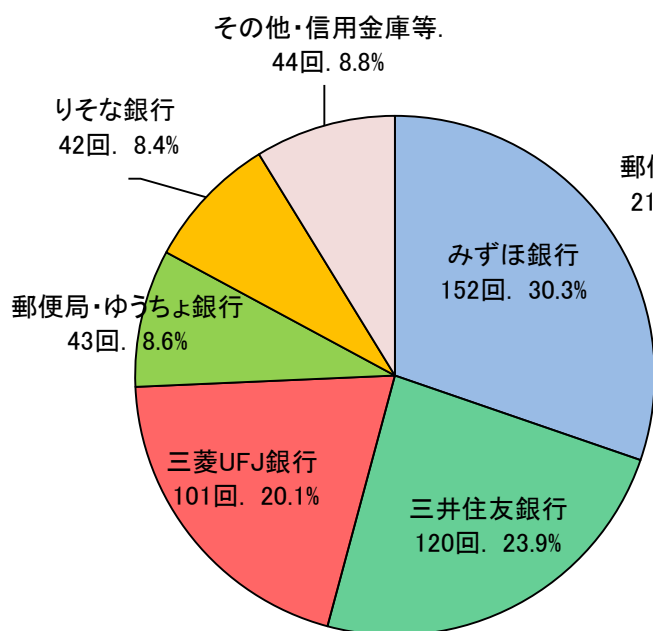
	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R5年上半期	152	120	101	43	42	44	502
割合	30.3%	23.9%	20.1%	8.6%	8.4%	8.8%	100.0%
R4年上半期	387	134	220	57	42	48	888
割合	43.6%	15.1%	24.8%	6.4%	4.7%	5.4%	100.0%

振込被害金額

	みずほ銀行	三井住友銀行	三菱UFJ銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R5年上半期	111,455,464	84,162,174	67,452,204	21,109,292	19,975,370	26,478,115	330,632,619
割合	33.7%	25.5%	20.4%	6.4%	6.0%	8.0%	100.0%
R4年上半期	291,642,392	72,350,875	143,069,578	25,991,856	16,516,185	30,925,631	580,496,517
割合	50.2%	12.5%	24.6%	4.5%	2.8%	5.3%	100.0%

【振込回数 502回】

【振込被害金額 3億3,063万2,619円】



(6) 融資保証金詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	4	4	0	5,682,539	1	1	0	92,000
合計	4	4	0	5,682,539	1	1	0	92,000
前年比	+3	+3	±0	+5,590,539				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R5年 上半期	男性	0	0	2	0	2	0	0		0
割合	0.0%		0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
合計	0		0	2	0	2	0	0	0	4		
割合	0.0%		0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
前年比	±0		-1	+2	±0	+2	±0	±0	±0	+3		
増減率	-	-100.0%	-	-	-	-	-	-	+300.0%			
R4年 上半期	男性	0	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0%	
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
合計	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%			

【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で金銭等をだまし取る(脅し取る)手口

【手口例】

- 被害者宅事務所に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要があるが、後で返金します。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

(7) 金融商品詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	4	4	0	131,494,355	0	0	0	0
外国通貨	5	5	0	7,784,980	0	0	0	0
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	3	3	0	16,887,438	0	0	0	0
合計	12	12	0	156,166,773	0	0	0	0
前年比	+12	+12	±0	+156,166,773				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年 上半期	男性	0	0	0	1	2	0	1	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
女性	2		2	1	1	2	0	0	0	8	66.7%
割合	25.0%		25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	2		2	1	2	4	0	1	0	12	
割合	16.7%		16.7%	8.3%	16.7%	33.3%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%	
前年比	+2		+2	+1	+2	+4	±0	+1	±0	+12	
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R4年 上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券及び社債券等の有価証券や、外国通貨及び物品等の購入名目等で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 未公開株や社債などへの投資や商品購入に関するSMSが突然届き、「指定された口座に入金するだけで、入金額に比例した融資を受けて未公開株の購入ができます」等とうそを言い、金融商品の購入を装って、現金等をだまし取るもの

(8) ギャンブル詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	0	0	0	0
競馬必勝法等	2	2	0	12,322,693	6	6	0	107,368,532
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	2	0	12,322,693	6	6	0	107,368,532
前年比	-4	-4	±0	-95,045,839				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R5年 上半期	男性	0	0	0	0	1	0	0	0	1	50.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	1	0	0	0	0	0	1	50.0%
	割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	0	0	1	0	1	0	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
前年比 増減率	±0 -	±0 -	+1 -	±0 -	-3 -75.0%	-2 -100.0%	±0 -	±0 -	-4 -66.7%		
R4年 上半期	男性	0	0	0	0	3	2	0	0	5	83.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	0	0	0	0	4	2	0	0	6		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%		

【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬及び競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「当社はお客様から出資金を募り、馬券を代理購入する会社です。当社が独自に持っている有力な競馬情報を元に、お客様の代わりに馬券を購入して、馬券が当たればお客様の銀行口座に払戻金を振り込みます。今、キャンペーン中で、会員登録して頂きますと5,000円をプレゼントします。」等のメールを送信し、被害者に会員登録させて払戻金の報酬や手数料名目に犯人の指定した口座に現金を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R5年上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0		0
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	0.0%	0.0%	
合計	0		0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
前年比	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0		
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
R4年上半期	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%		0.0%
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た者が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) その他の特殊詐欺

認知件数

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

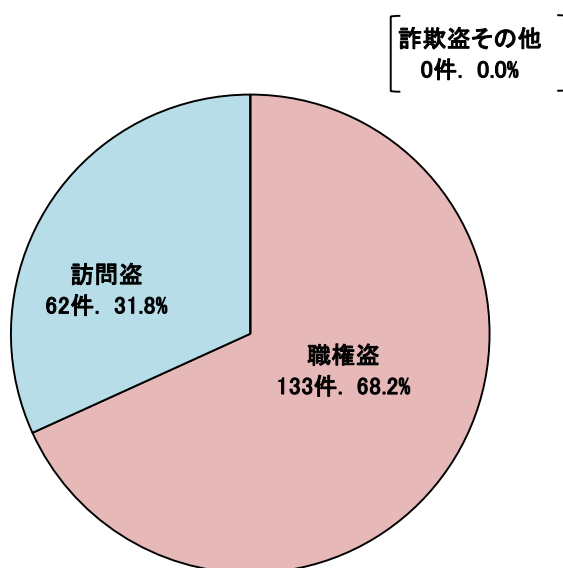
(11) キャッシュカード詐欺盗

ア 手口別認知件数

	認知件数	R5年上半期			認知件数	R4年上半期		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	133	131	2	154,126,000	244	240	4	348,610,406
訪問盗	62	61	1	77,007,000	79	79	0	112,199,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	195	192	3	231,133,000	323	319	4	460,809,406
前年比	-128	-127	-1	-229,676,406				

イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 195件】



【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁及び市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社及びガス会社等)などを騙る者が、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員及び銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等の名目でキャッシュカードを窃取するもの

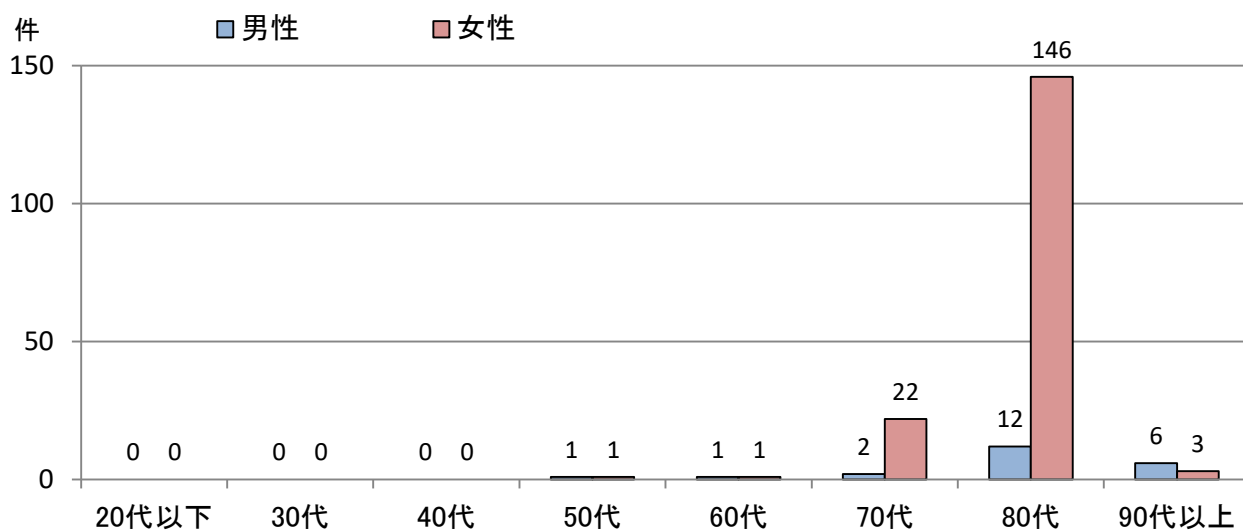
【主な手口】

- キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る
警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

【手口例】

- 警察官等を騙り、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

ウ 被害者（年代別・男女別）



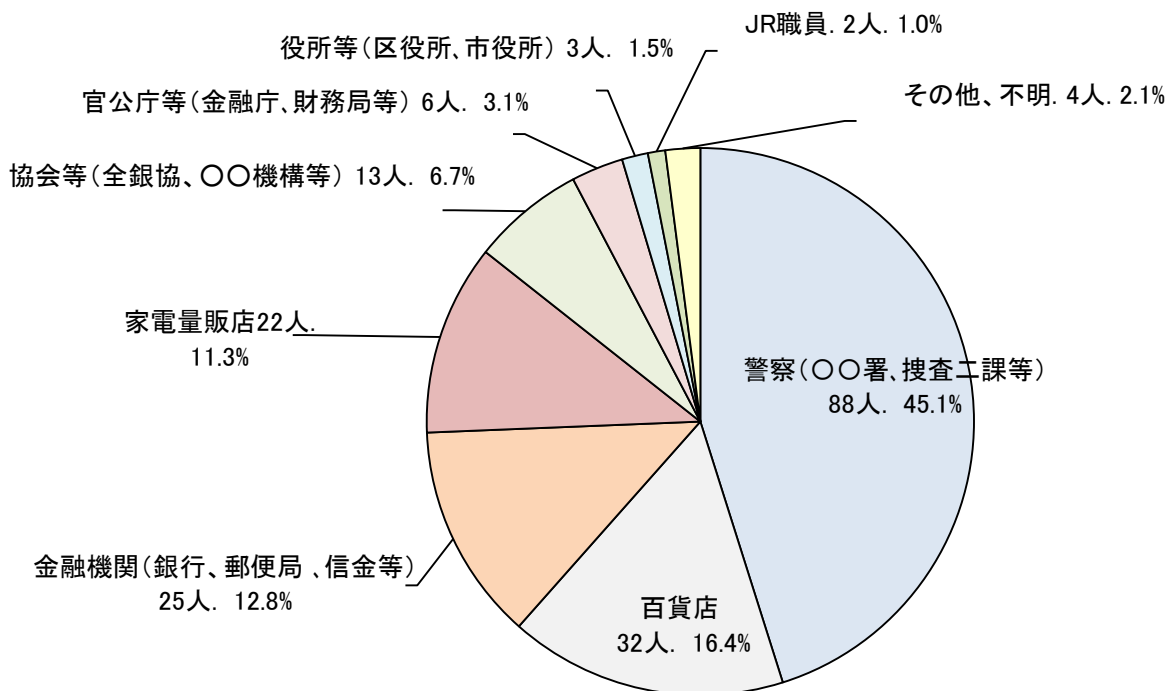
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R5年 上半期	男 性	0	0	0	1	1	2	12	6
割合	0.0%		0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	54.5%	27.3%	100.0%	
女 性	0		0	0	1	1	22	146	3	173	88.7%
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.6%	0.6%	12.7%	84.4%	1.7%	100.0%	
合 計	0		0	0	2	2	24	158	9	195	
割合	0.0%		0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	12.3%	81.0%	4.6%	100.0%	
前年比	±0	±0	±0	-1	-2	-38	-77	-10	-128		
増減率	-	-	-	-33.3%	-50.0%	-61.3%	-32.8%	-52.6%	-39.6%		
R4年 上半期	男 性	0	0	0	1	0	5	21	6	33	10.2%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	15.2%	63.6%	18.2%	100.0%	
	女 性	0	0	0	2	4	57	214	13	290	89.8%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	1.4%	19.7%	73.8%	4.5%	100.0%	
合 計	0	0	0	3	4	62	235	19	323		
割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.2%	19.2%	72.8%	5.9%	100.0%		

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の97.9%(191人)を占めており、男女別では、女性が88.7%(173人)を占めている。

いずれも特殊詐欺全体(70代以上81.6%、女性73.6%)と比べ、高い割合になっている。

エ 欺罔者(登場人物)別

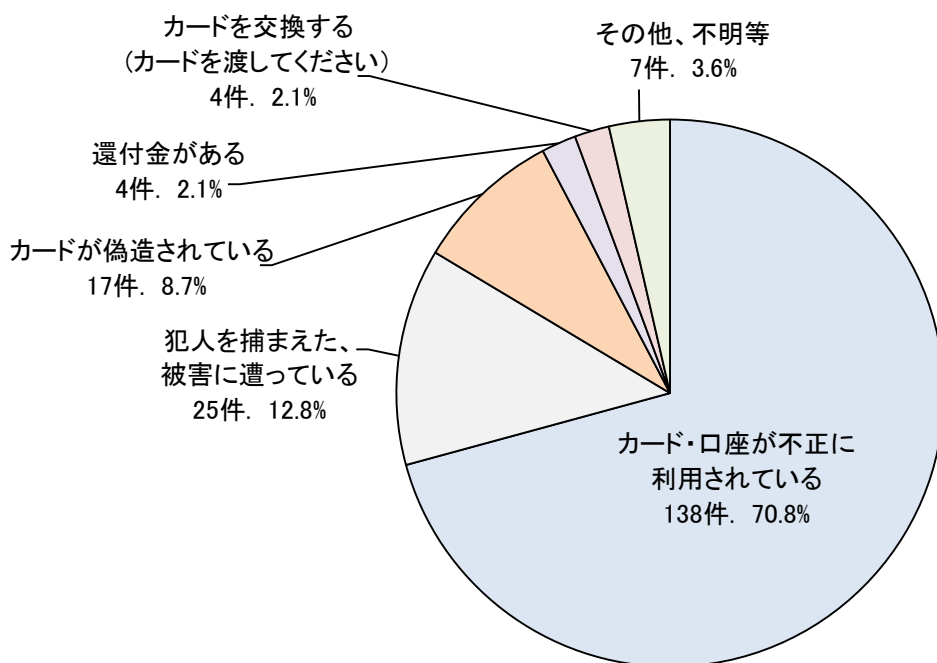
【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 195件】



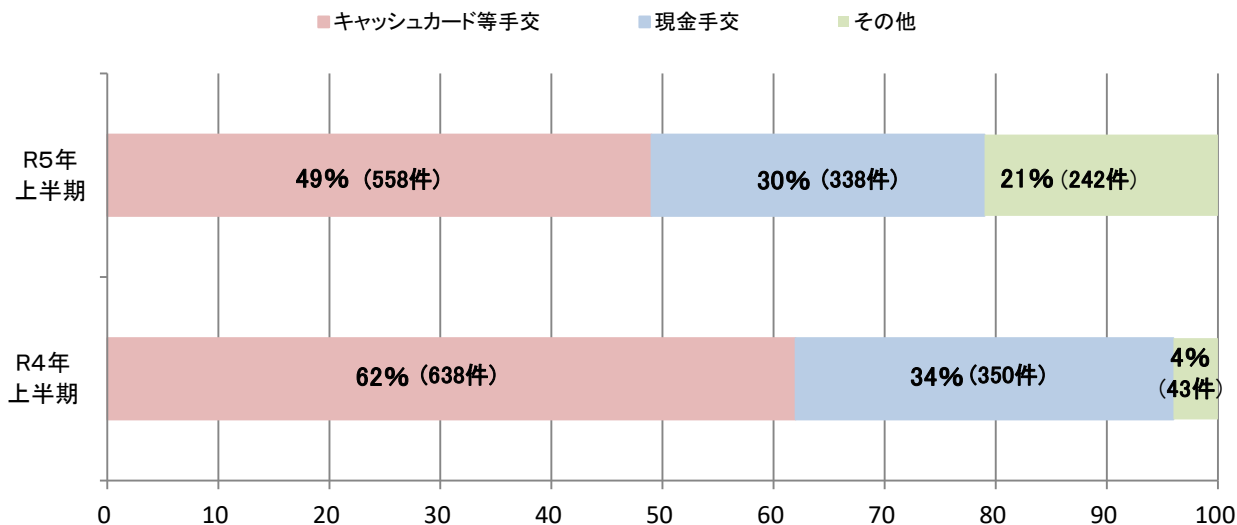
※ 犯人が最初に騙った人物を計上

オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 195件】



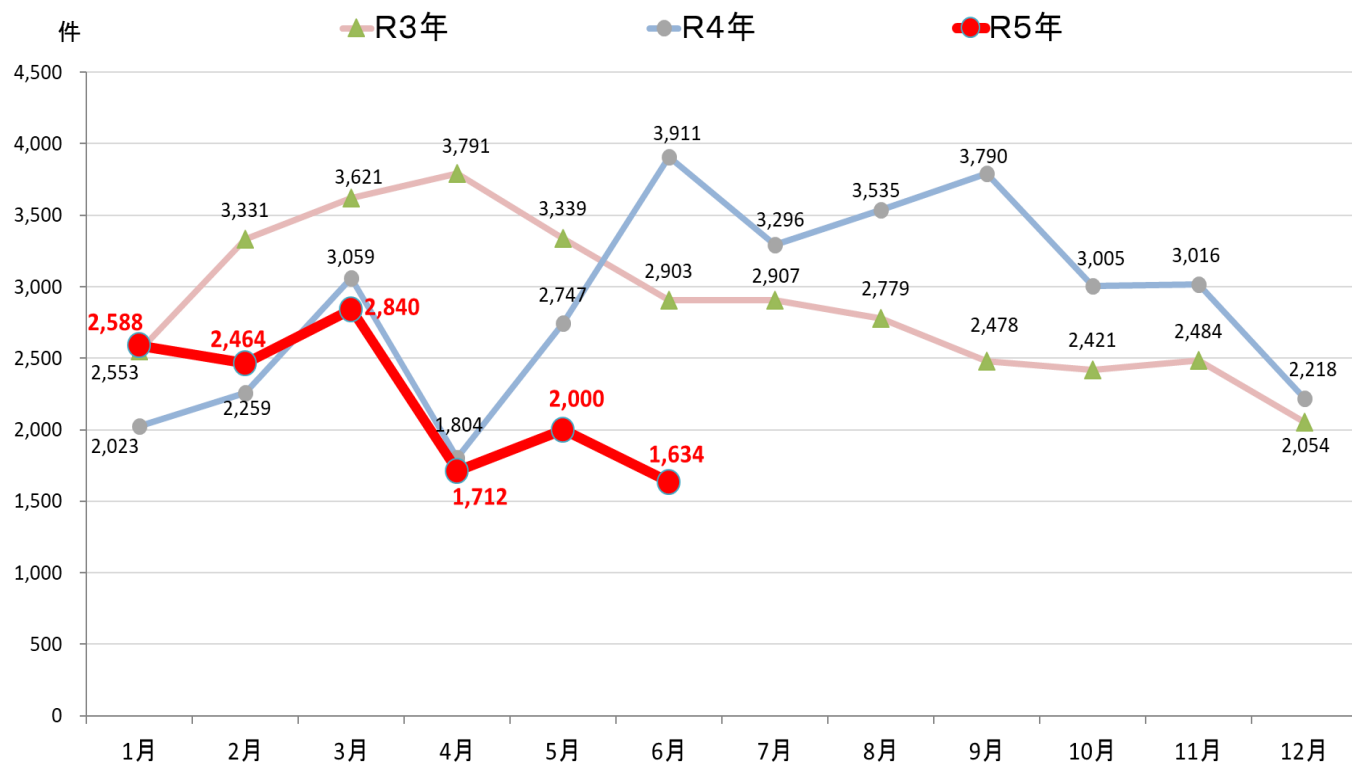
(12) 全体に占める金品手交等の種別割合



※ グラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「架空料金請求詐欺」及び「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す (R5年上半期全体1,138件、R4年上半期全体1,031件)

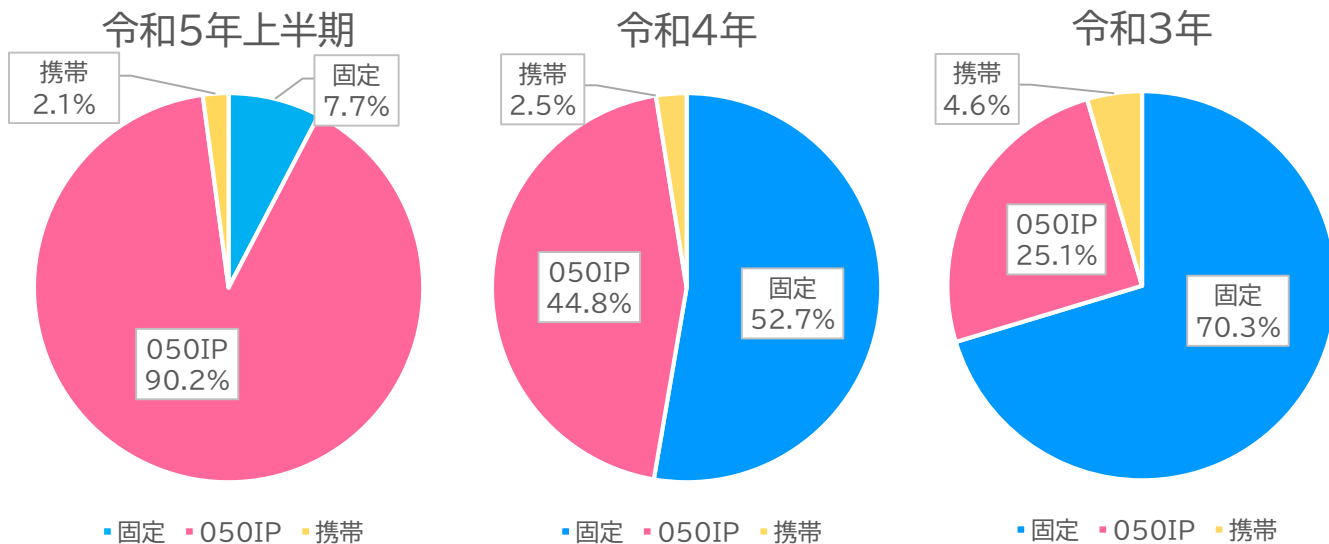
※ R5年上半期の「その他」は、「電子マネー(14%)」、「振込(6%)」、「送付(1%)」を示す

(13) 犯行予兆電話の通報件数



R5年上半期	1万3,238件 (前年比 -2,565件)
R4年上半期	1万5,803件 (前年比 -3,735件)
R3年上半期	1万9,538件 (前年比 +5,122件)

(14) 犯行利用電話の種別



※ 当庁で把握した犯行利用電話の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない

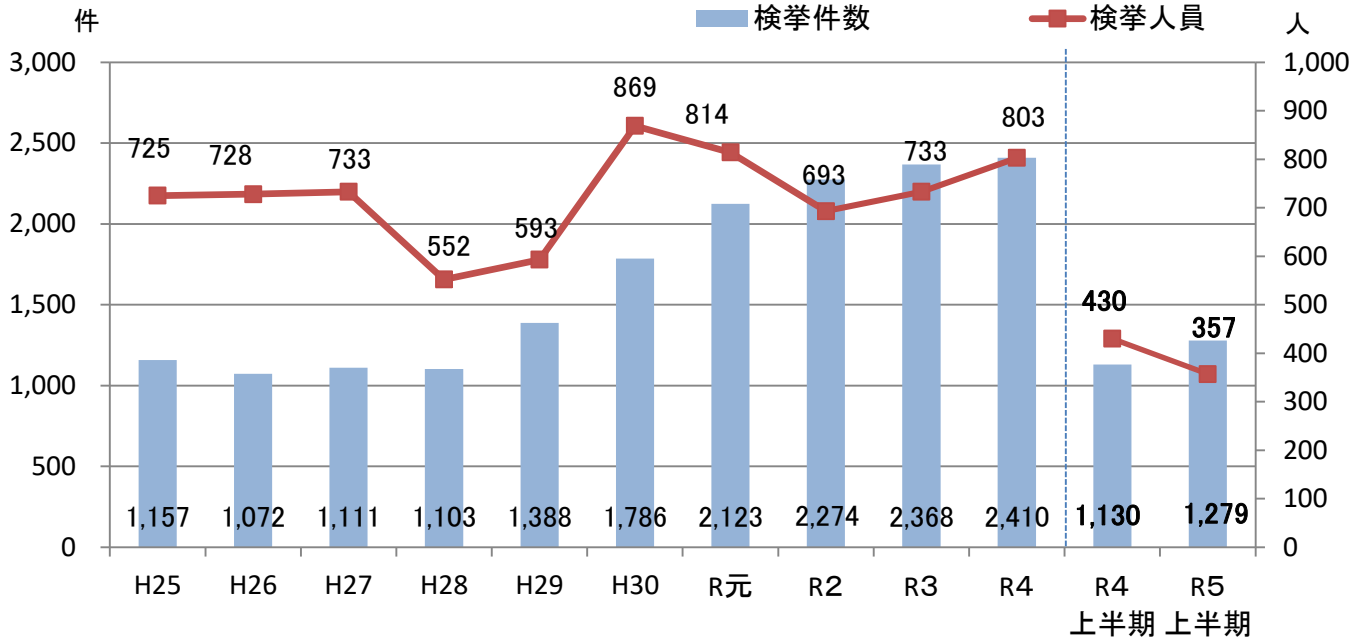
※ 『050』からはじまるIP電話の占める割合が増加している。

※ 固定電話番号には、犯人が使用している固定電話や携帯電話からの発信を、インターネット上で電話転送し、『03又は06』等からはじまる全国の固定電話番号で被害者の電話に着信表示されるものを含む

2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯

ア 検挙状況の推移 (H25～R5)



※ H25年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

イ 類型別の検挙状況

	R5年上半期								R4年上半期			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	319	24.9%	-12	-3.6%	149	41.7%	-42	-22.0%	331	29.3%	191	44.4%
預貯金詐欺	253	19.8%	-25	-9.0%	78	21.8%	-13	-14.3%	278	24.6%	91	21.2%
架空料金請求詐欺	76	5.9%	+63	+484.6%	8	2.2%	-7	-46.7%	13	1.2%	15	3.5%
還付金詐欺	329	25.7%	+152	+85.9%	55	15.4%	+21	+61.8%	177	15.7%	34	7.9%
融資保証金詐欺	0	0.0%	-7	-100.0%	0	0.0%	-4	-100.0%	7	0.6%	4	0.9%
金融商品詐欺	4	0.3%	+2	+100.0%	11	3.1%	+3	+37.5%	2	0.2%	8	1.9%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	-5	-100.0%	0	0.0%	-7	-100.0%	5	0.4%	7	1.6%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	-	0	0.0%	±0	-	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	2	0.2%	+2	-	0	0.0%	±0	-	0	0.0%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	296	23.1%	-21	-6.6%	56	15.7%	-24	-30.0%	317	28.1%	80	18.6%
合計	1,279	100.0%	+149	+13.2%	357	100.0%	-73	-17.0%	1,130	100.0%	430	100.0%

○ 前年同期と比べ、検挙件数は増加、検挙人員は減少している。

ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R5年上半期	2	16
R4年上半期	8	23
前年比	-6	-7

エ 検挙人員（年代別・男女別）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R5年 上半期	男	46	141	73	32	16	2	1	0	0	311	87.1%
	割合	14.8%	45.3%	23.5%	10.3%	5.1%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	5	20	13	4	2	2	0	0	0	46	12.9%
	割合	10.9%	43.5%	28.3%	8.7%	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	51	161	86	36	18	4	1	0	0	357	
	割合	14.3%	45.1%	24.1%	10.1%	5.0%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	-30	-35	+6	-9	-1	±0	-4	±0	±0	-73	
増減率	-37.0%	-17.9%	+7.5%	-20.0%	-5.3%	±0.0%	-80.0%	-	-	-17.0%		
R4年 上半期	男	75	184	68	40	17	3	5	0	0	392	91.2%
	割合	19.1%	46.9%	17.3%	10.2%	4.3%	0.8%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	6	12	12	5	2	1	0	0	0	38	8.8%
	割合	15.8%	31.6%	31.6%	13.2%	5.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	81	196	80	45	19	4	5	0	0	430		
割合	18.8%	45.6%	18.6%	10.5%	4.4%	0.9%	1.2%	0.0%	0.0%	100.0%		

○ 年代別では、10代から30代までで、全体の83.5%(298人)を占めており、20代が45.1%(161人)と最も多い。

○ 男女別では、男が87.1%(311人)を占めており、前年同期と比べ、女の割合が増加している。

○ 男の年代別では、10代から30代までの割合が83.6%(260人)を占めている。

○ 女の年代別では、20代から30代までの割合が71.7%(33人)を占めている。

オ 検挙人員（少年・暴力団・外国人別）

		検 挙 人 員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R5年 上半期	男	311	44	46	11
	女	46	5	3	2
	合 計	357	49	49	13
	前年比	-73	-28	-11	-5
	割合	100.0%	13.7%	13.7%	3.6%
R4年 上半期	男	392	71	59	17
	女	38	6	1	1
	合 計	430	77	60	18
	割合	100.0%	17.9%	14.0%	4.2%

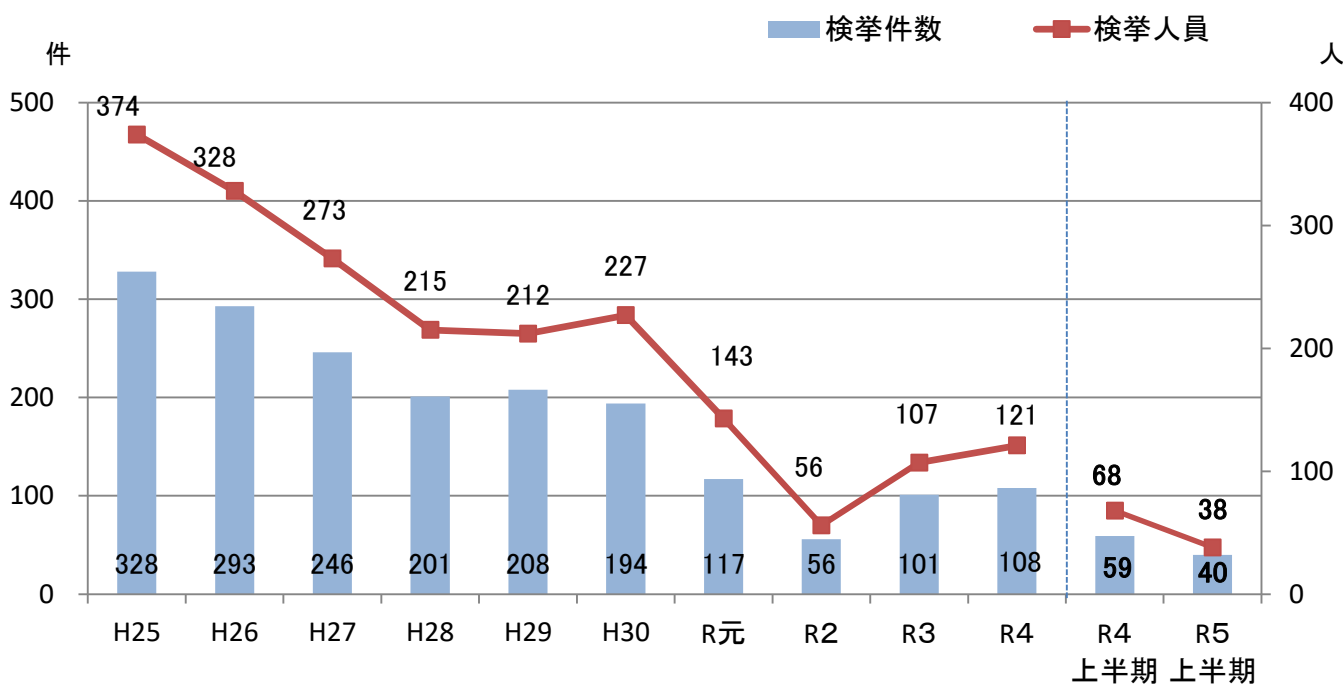
○ 検挙人員のうち、少年13.7%(49人)、暴力団構成員等13.7%(49人)、外国人3.6%(13人)であり、前年同期と比べ、全て割合が減少している。

カ 検挙人員（役割別・男女別）

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R5年 上半期	男	5	4	12	39	184	8	24	35	311
	女	0	0	2	10	28	2	1	3	46
	合計	5	4	14	49	212	10	25	38	357
	前年比	-3	-1	-10	-4	-44	-22	+2	+9	-73
	割合	1.4%	1.1%	3.9%	13.7%	59.4%	2.8%	7.0%	10.6%	100.0%
R4年 上半期	男	8	5	24	47	230	29	23	26	392
	女	0	0	0	6	26	3	0	3	38
	合計	8	5	24	53	256	32	23	29	430
	割合	1.9%	1.2%	5.6%	12.3%	59.5%	7.4%	5.3%	6.7%	100.0%

- 受け子の検挙人員が全体の59.4%(212人)で最多となっている。
- 受け子の男女別では、男が86.8%(184人)を占めている。

キ 現場設定（だまされた振り作戦）による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年同期と比べ、検挙件数が19件、検挙人員が30人それぞれ減少している。

(2) 特殊詐欺助長犯

類型別の検挙状況

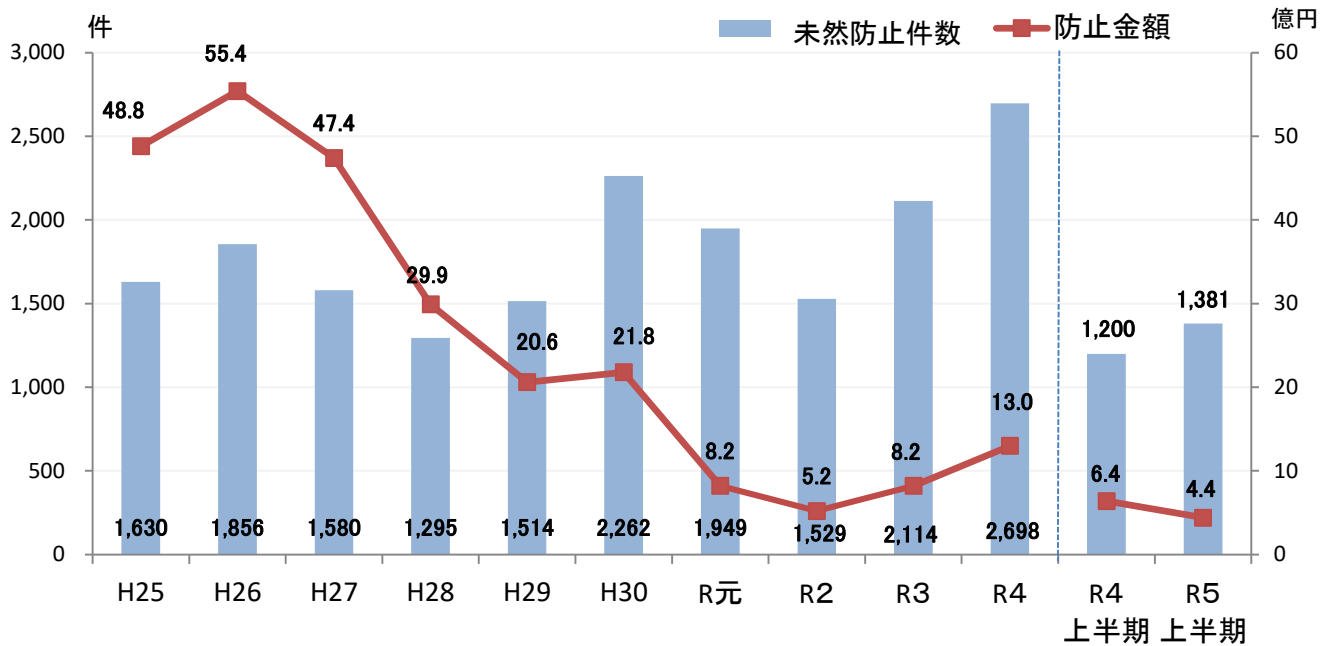
		口座開設詐欺	携帯電話契約詐欺	犯罪収益移転防止法違反	携帯電話不正利用防止法違反	合計
検挙件数	R5年上半期	44	28	198	0	270
	R4年上半期	43	8	222	0	273
	前年比	+1	+20	-24	±0	-3
	増減率	+2.3%	250.0%	-10.8%	-	-1.1%
検挙人員	R5年上半期	33	30	165	0	228
	R4年上半期	25	6	194	0	225
	前年比	+8	+24	-29	±0	+3
	増減率	+32.0%	+400.0%	-14.9%	-	+1.3%

○ 助長犯の検挙は、前年同期と比べ、検挙件数が3件減少し、検挙人員が3人増加している。

3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体

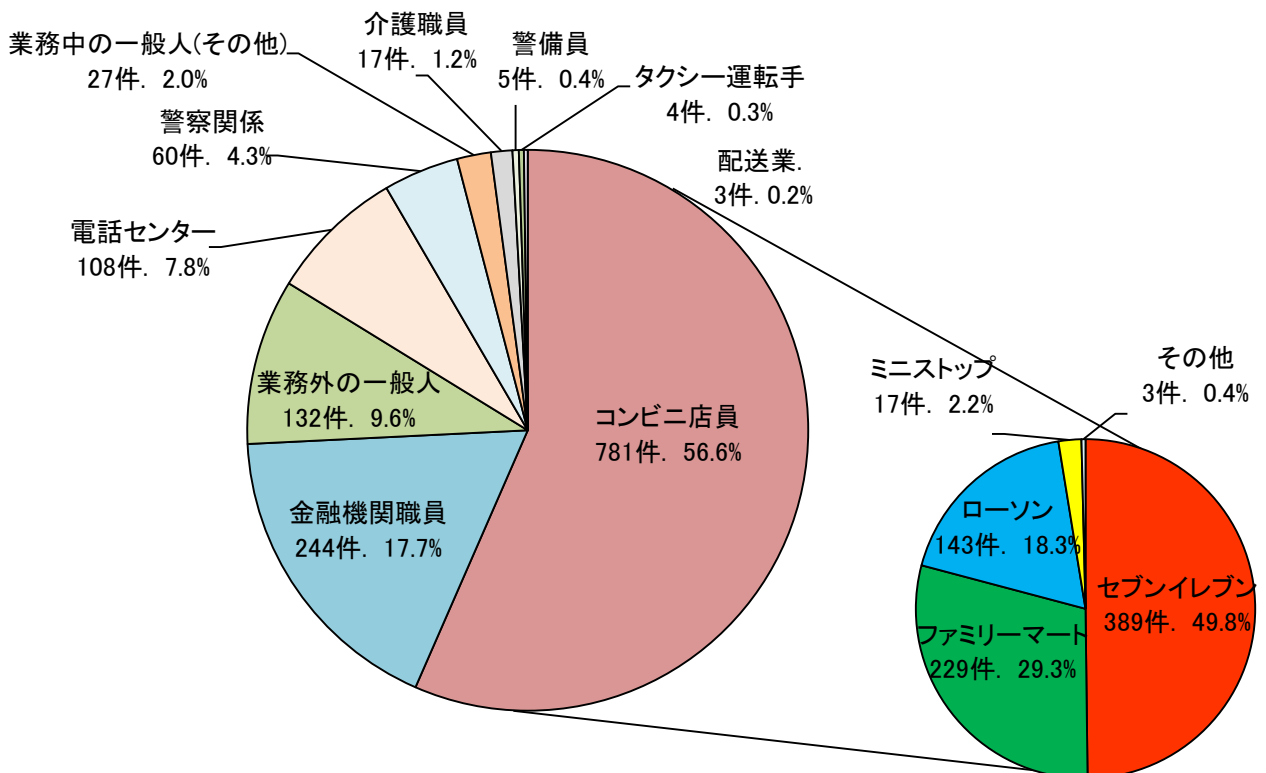
ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年同期と比べ181件増加、防止金額は、約2.0億円減少している。

イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 1,381件】



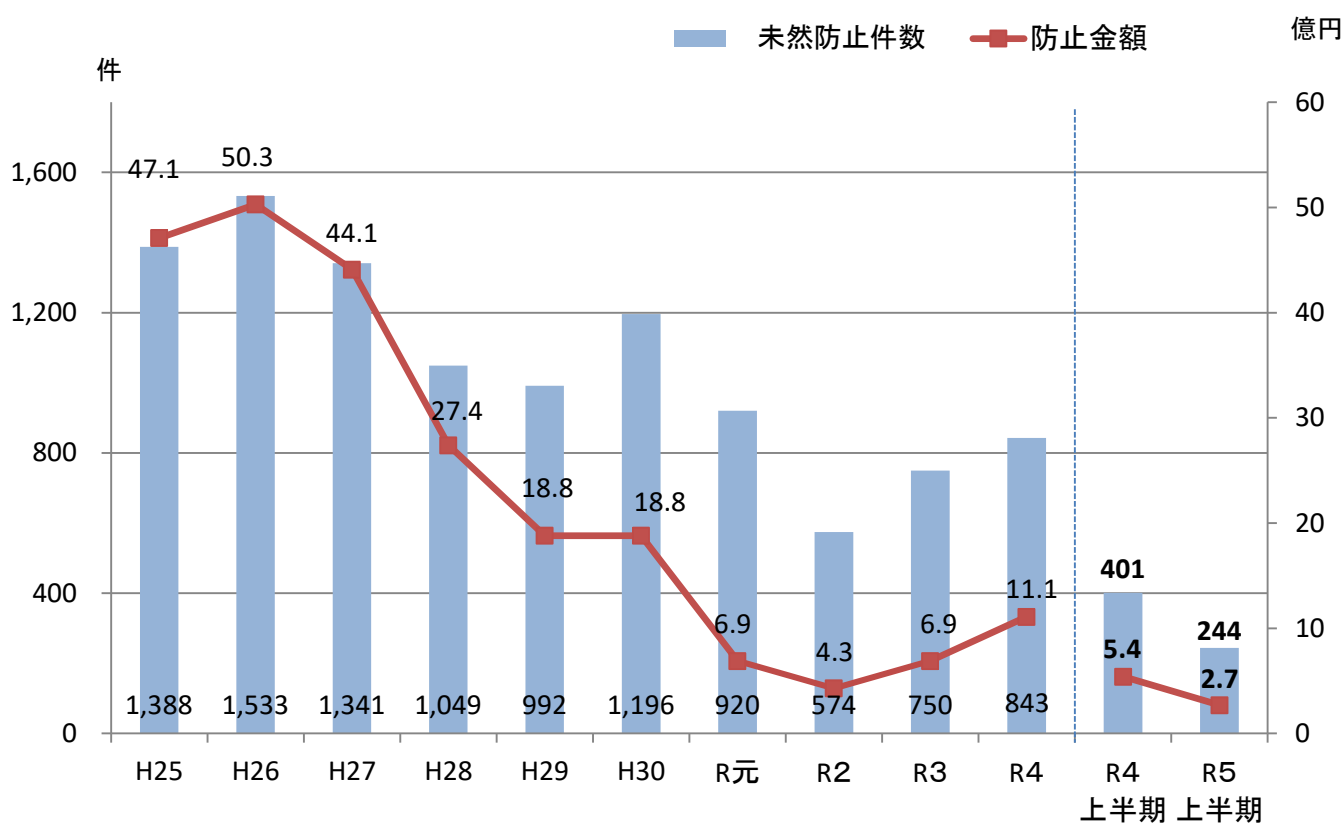
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R5年上半期	244	60	108	781	5	17	4	3	27	132	1,381
割合	17.7%	4.3%	7.8%	56.6%	0.4%	1.2%	0.3%	0.2%	2.0%	9.6%	100.0%
前年比	-157	-105	+35	+423	-7	+6	+4	+1	+8	-27	+181
増減率	-39.2%	-63.6%	+47.9%	+118.2%	-58.3%	+54.5%	-	+50.0%	+42.1%	-17.0%	+15.1%
R4年上半期	401	165	73	358	12	11	0	2	19	159	1,200

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す

- コンビニ店員による未然防止が、全体の56.6%(781件)を占め、前年同期と比べ、118.2%(423件)増加している。
- 電話センターによる未然防止が、前年同期と比べ、47.9%(35件)増加している。

(2) 金融機関による未然防止

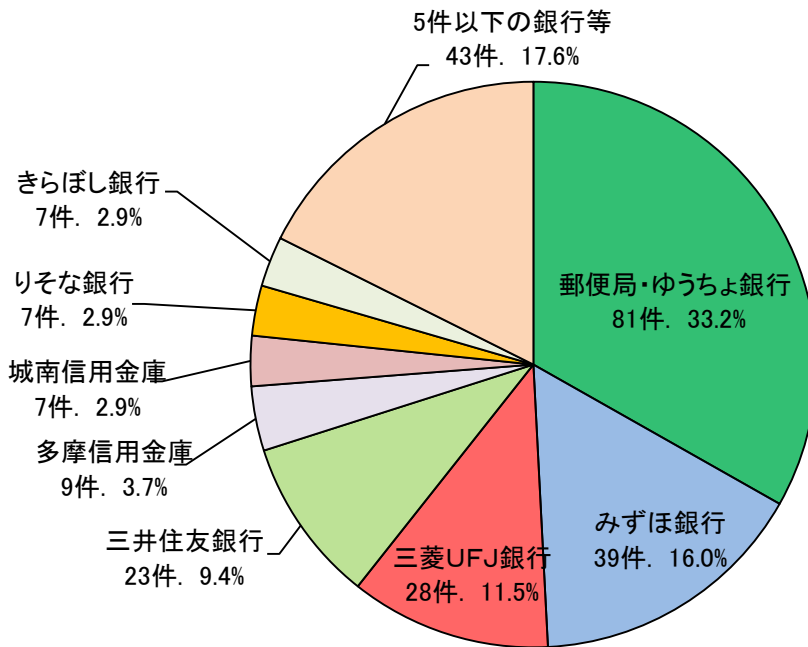
ア 未然防止の推移



- 未然防止件数は、前年同期と比べ157件減少、防止金額は、約2.7億円減少している。

イ 金融機関別の未然防止状況

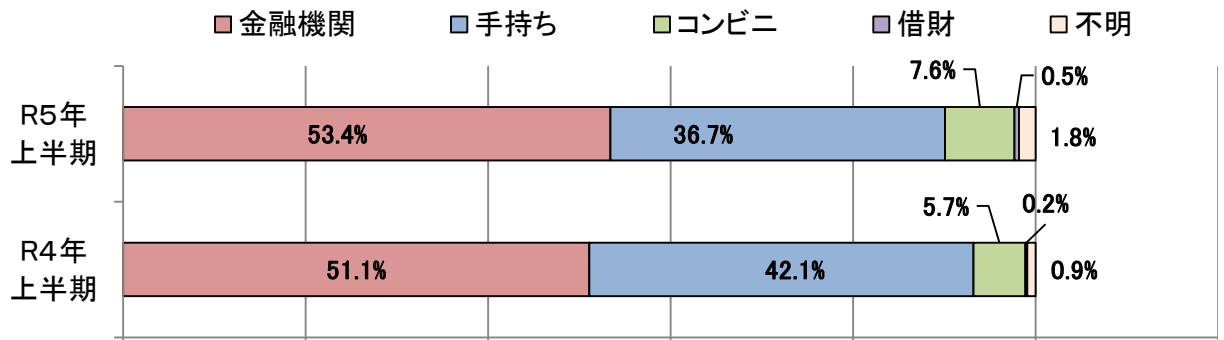
【未然防止件数 244件】



(3) 被害金調達状況(全体)

方法別の被害金調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R5年上半期	318	45	3	219	11	596
割合	53.4%	7.6%	0.5%	36.7%	1.8%	100.0%
R4年上半期	278	31	1	229	5	544
割合	51.1%	5.7%	0.2%	42.1%	0.9%	100.0%

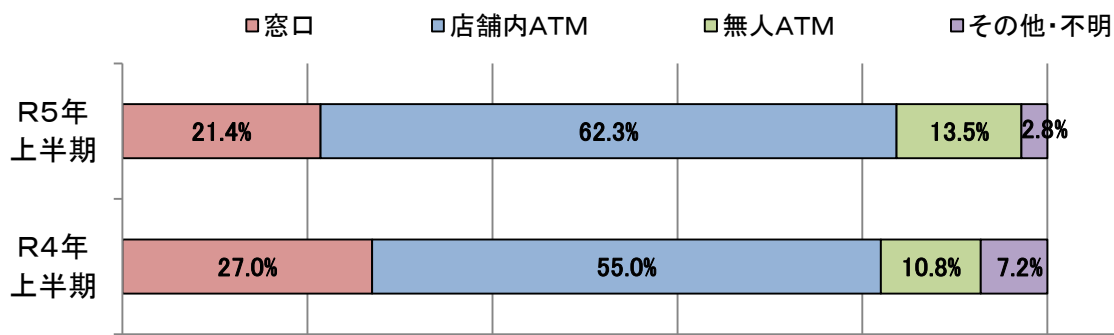


○ 被害金の調達は、「金融機関」と「コンビニ」の占める割合が増加している。

(4) 金融機関における被害金調達

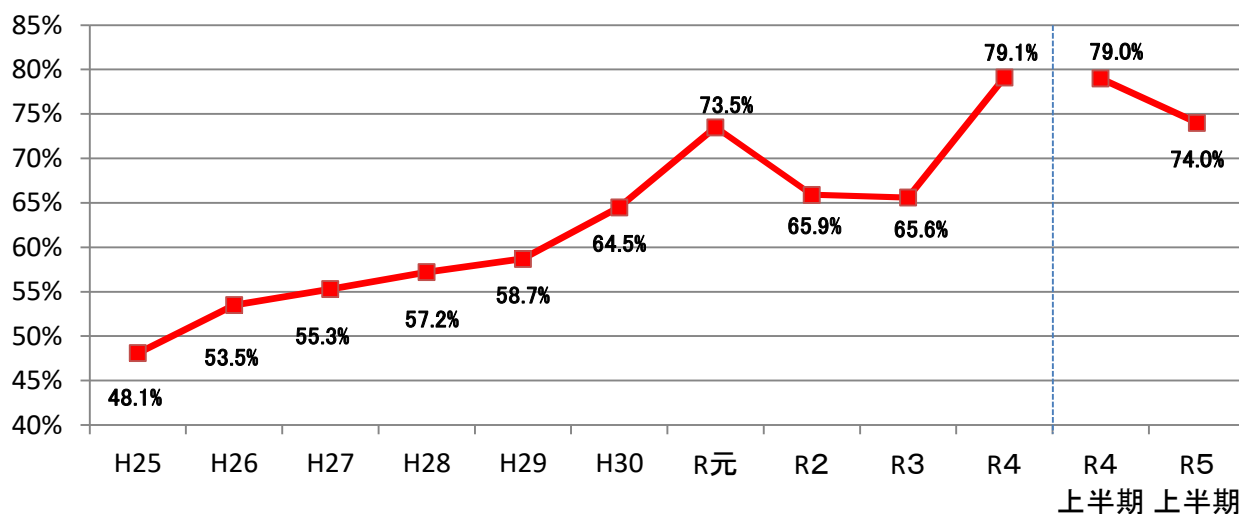
方法別の被害金調達回数

	窓口	A T M			その他不明	合 計
		店舗内ATM	無人ATM	小 計		
R5年上半期	68	198	43	241	9	318
割合	21.4%	62.3%	13.5%	75.8%	2.8%	100.0%
R4年上半期	75	153	30	183	20	278
割合	27.0%	55.0%	10.8%	65.8%	7.2%	100.0%



○ ATMでの調達の割合は、店舗内と無人を合わせて全体の75.8%(241回)を占めている。

(5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 未然防止率

= 窓口での未然防止件数(194件) ÷ (窓口での未然防止件数(194件) + 窓口での引き出し件数(68件)) × 100

○ 被疑者は、被害者が金融機関で現金を調達する際に、行員等にその理由を聞かれることを想定し、被害者に対して次のように答えるように指示している場合がある。

R5年上半期

- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 法事で使うため
- ・ 車を購入するため
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ 子供の住宅購入費用とするため 等

(6) 未然防止の好事例

1 高校生による未然防止

防止者らが下校途中、被害者（80代・男性）から「電子マネーの購入方法を教えてほしい」と声を掛けられた。

防止者らが詳しく話を聞くと、購入目的が判然としない部分があった上、以前高校で実施されたスクールサポーターによる特殊詐欺の講話で聞いた手口と内容が一緒であったことから、防止者らは、詐欺の被害者であると確信し、「一緒に交番に行きましょう」と声をかけ、近くの交番に連れて行き、被害を未然に防止した。

2 宅配業者による未然防止

防止者が配達員として荷物を配送中、配達予定の部屋の前でうろうろしている女性から「荷物を受け取りたい」と声を掛けられたため、居住者である確認をとろうと、身分証の提示を求めたところ、女性はこれを拒否し、どこかへ立ち去ったため、不在票を投函し、その場を離れた。

その後、再配達の依頼があり、再度配達場所に行くも、部屋のインターホンは鳴らず、通電している様子もなかったため、何らかの被害品の配送である可能性が高いと判断し、警察署へ通報し、中身を確認したところ、現金在中の小包であったことが判明し、被害を未然に防止した。

3 タクシー運転手による未然防止

防止者がタクシー運転手として乗車勤務中、被害者（80代・女性）が「公園に向かってほしい」旨を申し立てたため、依頼場所まで走行中、被害者が「息子が鞆をなくして、困っている。これからお金を届けに行く」と話したことから、犯人に誘導されている最中ではないかと思い、「それは詐欺ですよ」と申し向け、近くの駐在所にタクシーを停車させ、被害を未然に防止した。

4 介護職員による未然防止

防止者は、身の回りの世話をするために被害者（80代・女性）宅を訪問したところ、部屋のテーブルに「息子が鞆をなくした」「通帳、カード、現金」等と書かれたメモが散乱しているのを発見し、被害者に尋ねるも、内容が判然としなかった。そこで、被害者の娘に連絡を取り、確認したところ、このような事実についてはないことが判明、警察署へ通報し、被害を未然に防止した。

5 警備員による未然防止

防止者は、某銀行出張所のバックヤードでATMのメンテナンス作業中、ATMコーナーから「医療費の還付金」という声が聞こえたことから、ATMに向かったところ、被害者（70代・女性）が携帯電話で通話しながら、ATMを操作しているのを発見したことから、すぐに手続きを中断させ、被害を未然に防止した。